

教育特集

教育現場の現状と将来

①設立年月日
②卒業生数、在校生数
③カリキュラム
④教育方針
⑤この1年間の自校の変化
⑥昨年度就職状況、今年度就職展望
⑦今後の教育展望

多様性によって働き方から
学ぶスタイルにまで様々な変
化が起きている。

特に専門知識の多い業界で
は、専門教育機関の果たす役
割は大きい。業界人にによる継
続した学びも必要になってしま
っている。

業界関連の教育機関に、現
在の状況、変化への対応、そし
て今後の見通しを聞いた。

東京眼鏡専門学校

実践的な
眼鏡技術者を養成

①1968年4月。2000年に日本眼鏡専門学校と早稲田眼鏡専門学校が合併して開校。2004年に校名を東京眼鏡専門学校に変更。

②卒業生7,193人(全日制4,126人、通信教育2,975人、ケッチャム通信92人)。在校生99人。

③英会話、心理学、人体のしくみ、光学入門、光サイエンス、眼鏡光学、光学機器、眼科学、薬理学、眼のしくみ、屈折測定論、両眼視機能学、眼鏡作製・調整、フィッティング実習、コンタクトレンズ、流通論、眼鏡店マネジメント、メガネとファッショントピック、人間工学、プロダクトデザインの基礎、手作りメガネ工房、学内実習、学外学習など。

修学旅行(国内フレーム・レンズ工場見学)。

④実践的な眼鏡技術者・眼鏡店経営能力者の育成と人格面での形成を目指す。

▽3年制カリキュラムと少人数制の

授業▽眼鏡店等でのインターン制度により、実践力を強化▽クラスアドバイザーによるきめ細やかな勉学・生活指導▽ガイダンスや企業研究など万全の就職指導。

⑤2020年度より通信教育において、ビデオ受講を多数取り入れ、従来のスクーリングと併用して、より受講やすい形をとった。また、通信教育では2022年度より科目履修コースを新設し、眼鏡作製技能検定試験に向けて学びたい科目だけをピックアップで短期間で学べるようにした。

⑥2024年度の就職希望者は全員就職した。2025年度は、就職希望者は全員内定済み。

⑦専門学校卒業生の強みである実践力を日々強化し、即戦力の眼鏡技術者を養成したい。

▽学生の教育水準を引き上げ、実践的な技術者を輩出する▽国家検定資格「眼鏡作製技能士」の取得を目指す教育を目指している。



グリーン単色モデル



フルカラーモデル

最新技術で実現する
最独立の光学技術と
最先端ワイヤレスAR
グラス

Cellid(株)

次世代デバイスのARグラス用ディスプレイおよび空間認識エンジンの開発を手がけるCellid(株)(東京都港区)、代表取締役:白神賢(白神賢)が、拡張現実(AR)グラスの新たなリフレンスデザイン(検証用モデル)のグリーンとフルカラーの2モデルを発表した。

グリーン単色モデルはCellidが世界で初めて量産化に成功した最新のプラスチック製ウェイブガイド(ARグラス用ディスプレイレンズ)を搭載し、

フルカラーモデルはガラス製ウェイブガイドを搭載。また、両モデルともワイヤレスでデザイン性に優れ、軽量メガネ型ARグラスとなり、企業のDX推進から日常生活での活用まで、幅広いシーンに対応し、注目されている。

両モデルは、国内外の顧客からのARグラスに対するニーズと多様化する使用用途に的確に対応するため、CellidのARグラス開発で培われた最新技術と、各パートナー企業の豊富な製品開発ノウハウを融合して誕生。従来のARグラスのイメージを一新するスタイリッシュなデザインと、多様な用途に対応する高い実用性を兼ね備えている。

全モデルに両眼ARディスプレイと視野角(FOV)30°を採用し、屋内外での高い視認性と自然な視界を実現。さらに、最大30000nitのMicro-LEDプロジェクターにより、情報がくっきりと表示される。加えて、それぞれCellidが独自開発した最新のプラスチック製とガラス製ウェイブガイドを採用し、軽量性と光学性能の両立を成している。

代表取締役社長CEOの白神氏は「AR技術は今、社会実装の段階に突入。特に、ARグラスに不可欠なウェイブガイド技術においては、光学性能のみならず、デザイン性、耐久性、量産性、コスト効率といったバランスも重視。当社は、それらの需要に応えるため、ガラス・プラスチック両素材のウェイブガイドを独自開発できる数少ない企業として、用途に応じた製品開発を進めている。それと同時に、電力効率を最適化するソフトウェア・ハードウェア技術やディスプレイ技術の研究・開発、多様な業界での応用事例の共同開発にも注力していく。Cellidは“より人間に身近で、段違いに便利な情報ソリューション”という理念のもと、国内外のパートナー企業と連携し、多様な分野でコード名の展開を進め、ARグラスの可能性を押し広げ、より豊かな現実拡張体験の実現を目指していく」と説明した。

Cellidは、次世代デバイスのARグラス用ディスプレイおよび空間認識エンジンの開発を主軸とする事業を展開。

ARグラス用ディスプレイとして、最先端の光学シースルーディスプレイ方式のウェイブガイド(DOE方式)を製造。Cellid独自の光学シミュレーションと生産技術で、一般的なメガネレンズと同等の薄さと軽さ、鮮明な画像、ウェイブガイドで世界最大級の広視野角を実現したディスプレイモジュール製品を開発している。またCellid SLAMなどの空間認識ソフトウェア技術を用いた、産業別ソリューションの開発、提供。ARディスプレイのハードウェアの技術と、現実世界の空間認識のソフトウェアの技術を連携し、現実世界とデジタル世界の融合「Blending the Physical and Digital Worlds」を促進し、より人間に身近で段違いに便利な情報ソリューションの実現を主導していく。

Cellidは、次世代デバイスのARグラス用ディスプレイおよび空間認識エンジンの開発を主軸とする事業を展開。

ARグラス用ディスプレイとして、最先端の光学シースルーディスプレイ方式のウェイブガイド(DOE方式)を製造。

Cellid独自の光学シミュレーションと生産技術で、一般的なメガネレンズと同等の薄さと軽さ、鮮明な画像、ウェイ

ビガイドで世界最大級の広視野角を実現したディスプレイモジュール製品を開発している。またCellid SLAMなどの空間認識ソフトウェア技術を用いた、産業別ソリューションの開発、提供。ARディスプレイのハードウェアの技術と、現実世界の空間認識のソフト

ウェアの技術を連携し、現実世界とデジタル世界の融合「Blending the Physical and Digital Worlds」を促進し、より人間に身近で段違いに便利な情報ソリューションの実現を主導していく。

Cellidは、次世代デバイスのARグラス用ディスプレイおよび空間認識エンジンの開発を主軸とする事業を展開。

ARグラス用ディスプレイとして、最先端の光学シースルーディスプレイ方式のウェイブガイド(DOE方式)を製造。

Cellid独自の光学シミュレーションと生産技術で、一般的なメガネレンズと同等の薄さと軽さ、鮮明な画像、ウェイ

ビガイドで世界最大級の広視野角を実現したディスプレイモジュール製品を開発している。またCellid SLAMなどの空間認識ソフトウェア技術を用いた、産業別ソリューションの開発、提供。ARディスプレイのハードウェアの技術と、現実世界の空間認識のソフト

ウェアの技術を連携し、現実世界とデジタル世界の融合「Blending the Physical and Digital Worlds」を促進し、より人間に身近で段違いに便利な情報ソリューションの実現を主導していく。



最新AIスマートグラスLAWAKEN
「AI議事録」大幅アップグレード



株NEXT(東京都港区芝大門、代表取締役:鈴江将人)は、11月にプロジェクトが終了した日本語完全対応の最新AIスマートグラス「LAWAKEN AI Chat City」について、「AI議事録」機能の大幅アップグレードの内容を公表。

同製品は1,000人を超える支援者を獲得し、支援総額は2,000万円を突破。多くの支援者様から寄せられた声を反映する形で、AI議事録機能を日本のビジネスシーンに最適化した独自様へと進化させた。

ユーザーと共に創り上げる次世代デバイスとして、新たなステージを目指す。今回のアップグレードでは、支援者から多数寄せられた要望に応え、AI議事録機能を日本のビジネスシーンに最適化していく。フレームとテンブルは着脱可能で、シーンや好みに応じたカスタマイズも自在。『日常に溶け込まがらも国際的に活躍できる』という思想のもと開発された、革新的なAIウェアだ。

またフレームは人気の高い7種類を採用。度付き対応はもちろん、サングラス仕様でも活躍し、ファッショント先進技術を両立。ビジネスシーンに馴染むスタイルからカジュアルまで、最適な1本を選べる。

海外ではすでに数万台以上を販売。クラウドファンディングでは目標額を大幅に上回り、ビジネスパーソンや語学学習者から高い評価を獲得している。

試用・利用者は、海外出張の多いビジネスシーンからインバウンド従事者の日常使いまで高評価。実際に試用した利用者から「翻訳のスピードと精度に驚いた」「会議の議事録が自動で残るので作業効率が大幅に上がった」といった声が寄せられている。

「デザインも機能も妥協しない」ことを目的に開発を進め、海外展示会で得たフィードバックを反映。独自AIモデルやChatGPT・Gemini・Claudeを最適化し、128言語翻訳や会議要約、AIアシスタント機能などを兼ね備え、なおかつ約40gの軽量設計を実現した。

日本初上陸に際し、日本市場

向けに音声認識を最適化。完全日本語対応の新改良モデルへと生まれ変わった。

また、スマートグラスの難点であった固い見た目も、「日常に溶け込む」7種の着脱式フレームへと進化。通勤・出張など多様なライフスタイルに寄り添うデバイスとして、日常的にAIを活用したいビジ



ネス層を中心に期待されている。「LAWAKEN AI Chat City」は、AIを搭載した次世代スマートグラス。耳元でのリアルタイム翻訳や議事録作成、AIアシスタントとの対話を可能にする

ことで、従来のメガネに新しい価値をプラスした。フレームとテンブルは着脱可能で、シーンや好みに応じたカスタマイズも自在。『日常に溶け込まがらも国際的に活躍できる』という思想のもと開発された、革新的なAIウェアだ。

またフレームは人気の高い7種類を採用。度付き対応はもちろん、サングラス仕様でも活躍し、ファッショント先進技術を両立。ビジネスシーンに馴染むスタイルからカジュアルまで、最適な1本を選べる。

海外ではすでに数万台以上を販売。クラウドファンディングでは目標額を大幅に上回り、ビジネスパーソンや語学学習者から高い評価を獲得している。

試用・利用者は、海外出張の多いビジネスシーンからインバウンド従事者の日常使いまで高評価。実際に試用した利用者から「翻訳のスピードと精度に驚いた」「会議の議事録が自動で残るので作業効率が大幅に上がった」といった声が寄せられている。



ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390

<http://www.woodybell.jp>

ハイジュエリーの制作・修理、リフォームから彫り、レンタル工房、プロが教える教室まで。知りたいことなんでもご相談ください。

Woody Bell 株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野1-5-22-1 鈴木ビル1F

TEL 03-5688-2390